



桜が終わると、新緑が一斉に芽を伸ばしはじめ、園庭の芝生も緑が美しい季節です。

4月の誕生会が終わったばかりですが、なんと誰も泣かずに、座って参加できました。“ちゃんと”は求めています、なんだか自然と“ちゃんと”していました。

子ども達は幼稚園では“ちゃんと”しているけれど、ご家庭だと暴君と化す、とよく聞きます。場合によっては、これはとてもいいことと言えます。ご両親にちゃんと甘えることができ、安全基地だと認識しているから、安心して暴れることができる。どんなに暴れても、わがままを言っても、ちゃんと愛されている、ありのままを受け入れてもらえる、という実感があるからです。

逆に幼稚園でみんながちゃんと話を聞いているのに、聞けない子もいます。叱られることがわかっているのにわざと叱られるようなことをする子も稀にいます。叱られるとわかっているのに、なぜ叱られるようなことをする子がいるのでしょうか？

30人で話を聞いていても「ぼくがぼくが」「わたしがわたしが」と自分の話を聞いて！とばかりに訴えてくる子がいます。子どもは「あなたが大切」「あなたのことを見ていますよ」と受け入れて欲しいのです。家庭でしっかりと親に受容されることが、子どもの心を安定させるのです。安定すると周りの子が見えてきます。他の子への思いやりはその次の段階です。

人間の一生はだいたい八段階くらいに区分されるといわれています。第一段階は、一番大切な第一段階の「受容」。第五段階で大人になる過渡期＝アイデンティティの獲得の時期がきます。最近はこのアイデンティティの獲得という関門を乗り越えられない若者が増えていると聞いています。アイデンティティの獲得とは「自我同一性」＝「心のよりどころ」のことを言います。「心のよりどころ」を求めて集団とうまく繋がれない、不登校、ひきこもり、様々な依存症、親になってからの我が子への虐待。そういうものが増えているのは皆さまもご存じのことだと思います。

こんな難しい言葉で説明しなくても、幸せに暮らしている私たちは幸せなのだと思います。幼稚園の時期は親御さんとの時間がたくさん持てる時期です。たくさん愛情をかけて育ててください。「愛されている」と実感できた子どもは強いです。友達にも優しくできます。

「人間は集団の中でつながり合って生きる動物」です。つながりを求める動物とも言えます。幼稚園ではそのつながりを円滑に、自我と折り合いをつけながら、子ども達は生活しています。幼稚園では我慢もしていることでしょう。そのストレスが家庭で発散されているのも想像がつかます。でもストレスはそう悪いものではなく、成長を促すものであるともいいますので、鬱憤を晴らす

ことがあっても、少々大目に見てください。

今年のゴールデンウィークは3日から7日まで幼稚園はお休みです。今年は5月7日を創立記念日として休園させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ください。

ホームページにはパスワードでロックされたページに毎日の活動の様子を写真に撮り、名前を消してアップしています。この写真はメモリッジという会社を通して購入することができます。幼稚園のホームページでは載せきれなかった写真もたくさん見られるはずですので、ぜひご登録ください。

Instagramには毎日の給食の画像と、時々動画を載せています。ここは子どもが誰か、他人には判別しにくいくらいのサイズでアップします。インスタライブをすることもありますので、Instagramをしたことがない方も、是非アカウントを取得してください。

お弁当の投稿もホームページにアップしています。投稿をお待ちしています。

「子どものつぶやき」を常時募集しています。ホームページからも投稿できます。ご提出くださった「子どものつぶやき」は、年度末（3月）に、小冊子にして毎年配布しています。教員達にも子ども達との会話をメモするように伝えており、毎年たくさんのつぶやきが集まります。子どもとの会話をぜひメモしてみてください。子どものつぶやきは“生きている心”です。この時にしか発せられない子どもの言葉を、キャッチして書き留めておけば、いつか忘れてしまうはずのことが、記録として残ります。

*幼稚園の防災倉庫には長期保存できる食品や毛布などを備蓄しています。防災費（500円）の集金をさせていただきましたが、年度末に食品を持ち帰ります。

園長 志田 裕美子

<担任から今月のメッセージ>

また新しい一年が始まったーーーー！！と、気持ちを立ててスタート！！

新しい環境にドキドキ、不安でいっぱいのは4月。登園初日には、泣き声が響き渡るかな？大丈夫かな？と、私たちもそれぞれ。

初めの週は、ママの姿が見えなくなると、涙ポロポロ、足ピタリ、強張った顔！そんな新さくらさんたちも、毎日少しずつ幼稚園生活に慣れてきています。朝は、年上のお兄さんお姉さんに手を引かれて登園してくる子の姿も多く見られました。小さな手をぎゅっと握って、緊張気味に歩くその表情に、あと1か月もしたら、ニコニコ笑顔の登園かな？と期待しています。

最初は「ここどこ？」「せんせいってだれ？」と不安げだった子たちも、今では「せんせい、みててー！」

「いっしょにあそぼ！」と声をかけてくれるようになり、泣き声よりも笑い声があふれるさくら組へと少しずつ変わってきています。

<2ページへ続きます>

給食の時間には、「ピカピカにしたよー！」と得意げにお皿を見せてくれる子がいる一方で、ひとくち食べて首を横にフルフル…と無言のアピールをする子、スプーンを持ったままウトウトする子など、にぎやかな給食タイムも始まりました。給食が終わると、睡魔からのお誘いが来る子が、、、。眠気と闘いながらもなんとか眠るまいと頑張るその姿は、可愛くて可愛くて！！！！「かわいいiiiiiiiiiiii」と、ついつい声が出てしまいます。

私たちも、初めての環境に戸惑う子どもたちの気持ちに寄り添いながら、「今日はどんな一日になるかな？」と毎朝ちょっぴり緊張しつつ、子どもたちと過ごしています。風船あそびやホールでのボール遊び、園庭で走ったり、遊具で遊んだり、こいのぼりに感動して、ちょうちょを追いかけたり。そんな日々の中で見つける、ふとしたみんなの笑顔に毎日癒されています。

泣きながら登園していた子が、笑顔でバイバイして帰るようになった瞬間は、思わず「わぁ！！！」と、感動。「明日も笑顔で来てねー！」と声をかけてバイバイしています。

入園から約 1 か月。まだまだ涙もありますが、その涙の数だけ、笑顔も確実に増えてきています。朝の「いただきます」や帰りの「またね〜！」に、ほんの少しの余裕と自信が見えてきたみんな。これからどんな成長を見せてくれるのか、私たちもワクワクしています。

もっともっとみんなと仲良くなれるように、私たちもみんなといっぱい遊びます！！

高橋 まりこ